



ハイポネックスニュース

HYPONeX NEWS 43号

令和4年 9月発行 農芸プロダクツ部

株式会社ハイポネックスジャパン
農芸プロダクツ部

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

少しずつ展示会や会合が再スタートし始めましたが、いまだ肥料の高騰の影響受け、無機肥料が手に入りにくい状態が続いております。私共も、お客様に肥料が届けられるよう日々、邁進しております。

今回のニュースは、無機肥料、農薬と合わせてご使用いただけるバイオスティミュラント資材のご紹介を中心に、弊社のおすすめ提案をしたくまとめました。是非ご一読くださいますようお願い申し上げます。

トピックス

- | | |
|---------------------------|-----|
| ・新商品 オスモコートブルームのアジサイ施用 | 2頁 |
| ・ハイポネックスがお奨めするコショウランの肥培管理 | 3頁 |
| ・バイオスティミュラント(BS)特集 | |
| 高温や曇天時の鉢花・花壇苗へのおすすめ資材 | 4頁 |
| 当社バイオスティミュラントのご紹介 | 5頁 |
| 夏のシクラメン高温対策「グリベテン」 | 6頁 |
| これぞバイオスティミュラント資材の底力！ | |
| ナスの事例、大玉トマトの事例 | 7頁 |
| イチゴの事例 | 8頁 |
| メロンの事例、トルコギキョウの事例 | 9頁 |
| ストレス環境下における事例(除草剤の残効土壌) | 10頁 |
| ナスの青枯病 | 11頁 |
| ・その他 ご案内 | 12項 |

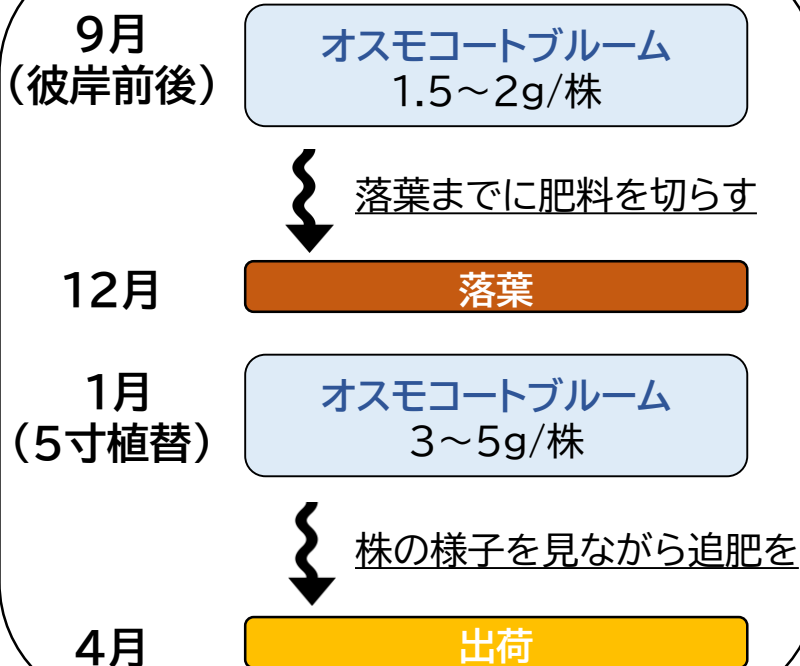


新商品のオスモコートブルームは肥効期間が2-3ヵ月と短く、短期間の肥効を狙う花壇苗や鉢物で使用が可能です。今回はアジサイの彼岸前後(9月頃)の置肥で落葉までに肥料分を切らす施用事例をご紹介します。



オスモコートブルーム
12-7-18+TE 2-3M
(MgO, MnO, B₂O₃, Fe, Cu, Zn, Mo)

アジサイ(5寸)での施用例

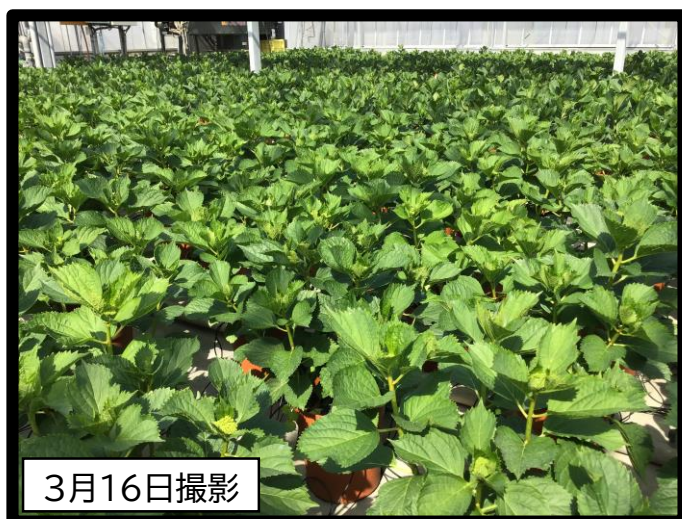


【オスモコートブルームの特徴】

- ・粒子が1~2.5mmと細かく灌水時の移動が少ない
- ・微量要素により葉色をしっかりと乗せられる

【アジサイでの事例】

- ・軸が太く、葉色も非常に良く乗っておりオスモコートブルームの効果を実感
- ・彼岸前後(9月)置肥+年明け(1月)植え替え後の置肥



他社コーティング肥料



オスモコートブルーム

※この施肥案は一例です。用土、環境により効き方は変わるため、一度お試しの上ご利用ください。

コチョウランはお祝いやギフトの定番であり、季節を問わず年間を通して需要が期待されます。今回は、ハイポネックス商品を活用したコチョウランの肥培管理をご提案致します。

液肥のローテーション施用とマグアンプKの推奨

コチョウラン栽培で使用される代表的な肥料として、液肥(液体肥料)が挙げられます。中でも肥料成分の窒素・リン酸・カリが並行型のタイプが多く用いられております。並行型は成分が均等であり幅広く使用できますが、今回当社が提案する肥培管理は、山型肥料や加減の多い肥料を組み合わせた「ローテーション施用」であり、コチョウランの生育の基である「葉」の生育を充実させます(画像参照)。また、ポット内の環境(肥料の変動)を安定させるためにマグアンプKの置肥もお奨め致します。



商品名	効果
ピーターズ20-20-20 10kg	<ul style="list-style-type: none"> ■生育促進 ■葉色・花色向上・維持 ■葉枚数確保
プロフェッショナルハイポネックス20-20-20 2kg×5袋	
ピーターズ15-30-15 10kg	<ul style="list-style-type: none"> ■根の太さ ■葉の色・厚み・幅の向上
プロフェッショナルハイポネックス15-30-15 2kg×5袋	
ピーターズ10-30-20 10kg	<ul style="list-style-type: none"> ■花芽分化促進(連続3回施用)
プロフェッショナルハイポネックス10-30-20 2kg×5袋	
プロフェッショナルハイポネックス13-8-25 10kg	<ul style="list-style-type: none"> ■株(葉・茎・花)の強化 ■花卉の日持ち
マグアンプK 大粒・中粒	<ul style="list-style-type: none"> ■根の伸長・太さ ■ポット内環境を安定

マグアンプKの施肥



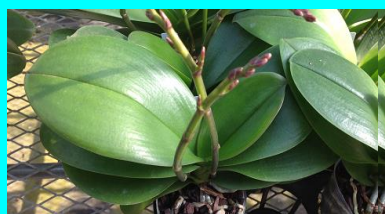
マグアンプKは根の伸長を促進。根に直接触れても問題ございません。
※水苔の場合は置肥(ポットの淵に1cm程、埋め込む程度)して下さい。

コチョウランの肥培管理提案

リン酸の葉の影響

【丸葉:葉の幅】

(上)15-30-15使用
(下)20-20-20のみ使用



週目/管理	肥料	希釈
0		水
1		水
2		水
3	15-30-15	2,000~2,500倍
4		水
5	20-20-20	2,500~3,000倍
6	13-8-25	2,500倍
7	15-30-15	2,000~2,500倍
8		水
9	20-20-20	2,500~3,000倍
10	13-8-25	2,500倍
11	15-30-15	2,000~2,500倍
12		水
∴		繰り返し
特記事項	※クーラー室(開花促進室)入室前に10-30-20(2,000倍)を1週間間隔で3回連続施用 ※クーラー室(開花促進室)入室後にマグアンプK大粒もしくは中粒を1.0~1.5g/3.5寸ポット置肥	

上記の提案は一つの目安となります。必ず一度お試しの上ご使用下さい。



園芸での新たな問題

気候の急変

干ばつ

高温

長雨

曇天

栽培条件の悪化

連作

土壌悪化

秀品出荷率の減少→収益減少

環境制御

肥料・農薬

バイオ
スティミュラント

近年の急激な高温や間伐、長雨などの環境急変により、露地栽培及び施設栽培共に植物の生育に必要な以上のストレスがかかり、結果として歩留まり低下による『生産ロス』が増加傾向にあります。

『バイオスティミュラント』は植物が本来持つ『生育力(免疫能力)』を活性化させることで、様々な悪条件によりもたらされる「ストレス」を最小限にする事を目的とした資材です。欧州を始めとした海外においても、従来の「農薬」や「無機肥料」、「有機肥料」とは異なる分野(カテゴリー)として認知されつつあります。『バイオスティミュラント』の活用により肥料や農薬を使う事や、環境制御をしても避けれることのできないストレスを軽減し、植物が本来持っている免疫能力を最大限まで発揮させスムーズな生育を促して新たな問題に対処していきます。

種類	製品名	容量	効果
高濃度菌根菌	マイコジェル	125ml 250ml 500ml	植物の根に共生し、 ●養分吸収増加●作物生存力強化 ●病害虫抵抗性の増大、 ●収穫物の味や風味向上
根張り促進型肥料	ライゾー	1kg	●悪天候下での根張り回復
有機活力液肥	ボンバルディア	1L 20L	●樹勢強化●曇天時の光合成促進 ●土壌養分の吸収増加●生産スピード促進●養分転流の促進●悪天候下でのエネルギー供給が早い
裂果軽減Ca、ホウ素補給資材	グリベテン	1L	●奇形花の軽減●葉や実の伸長を綺麗にする●チップバーンなど軽減
アミノ酸活力液肥	パナケアMA Original	1L	●アミノ酸を20種をバランスよく吸収させられる●様々な環境ストレスからの生育改善
亜リン酸液肥	フォスビット	1L 20L	●亜リン酸のためリン酸の吸収が速い●リン酸、カリウムが多く、開花、根張りや分けつ、果実肥大の促進に

こんな時に対処

有用菌を利用して健全化・病気の軽減に1000倍で根に届くように

暑い時期の移植前後の3回×5000倍施用

高温～曇天や長雨になりストレスがかかる時、3回×2000倍施用

高温～乾燥で転流が悪くなっているときに、3回×500倍葉面散布

高温やストレスで花芽やわき目の分枝が悪い時に、3回×1000倍施用

花芽の付きが悪い時に、3回×1000倍施用

バイオスティミュラント使用例



ライゾーはアミノ酸とリン酸とビタミンの作用で、発生した根の伸長を回復、結果、株の萎れ軽減や養分吸収に役立ちます。

例: プラグ苗
5000倍×2回液肥



グリベテンはグリシンベタイン+Ca+Bの効果で植物の細胞の急激な乾燥害を軽減しチップバーンや奇形などを減らします。

例: カーネーション
300倍×4～6回葉面散布



近年は生産現場においても高温障害で苦勞する場面が増えてきました。今年は6月末に40度超えの猛暑日が続いたり、年々栽培管理が難しくなっています。昨年発売したグリベテンですが、夏場の高温によるダメージを軽減する資材として注目され始めています。今回はグリベテンの使用方法をご紹介します。

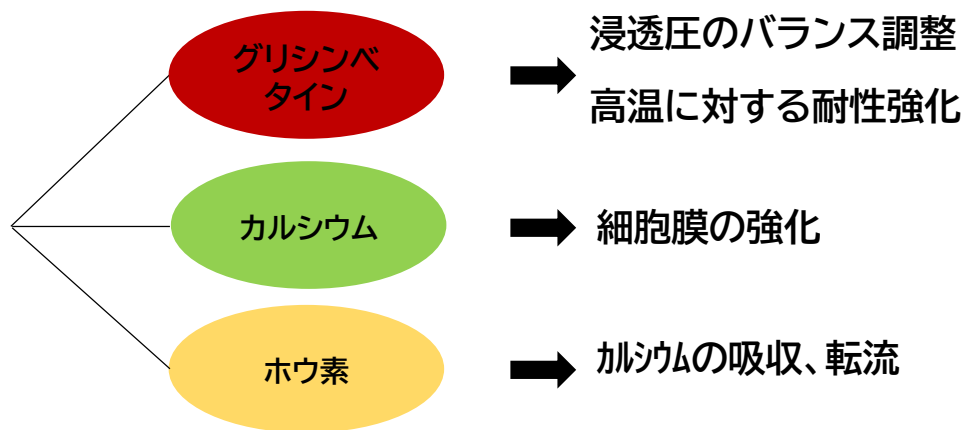
製品特徴



- ①高濃度の**グリシンベタイン(アミノ酸)**が含有されています
- ②**カルシウム(8%)**+**ホウ素(1.3%)**により植物細胞膜の生成と強化に作用する事で株を丈夫にします。

使用方法

- 梅雨明け直前より**500～1000倍**にて**葉面散布**(週1間隔で6週連続使用)



高温によるダメージを軽減出来ますので、来年の暑さ対策にご検討ください

高温下でも徒長を抑え

締まった株に

【ナスの事例～薬害からの完全回復を実現～】

処理前



処理1か月後



●注目ポイント(ライゾー(R)・ボンバルディア(B)施用)

定植直後の葉面散布による薬害で葉が黄化した株にR1000倍とB1000倍を混用して株元に毎週(計4回)土壌灌注処理したところ見る見る内に完全回復!

【大玉トマトの事例～着果負担の大幅軽減で増収を実現～】

無処理区



処理区



●注目ポイント(マイコジェル(M)・ライゾー(R)・ボンバルディア(B)施用)

着果負担後も毛細根が枯死せず花飛びなく連続して上段に着果し続ける事で最終的な収量が大幅に増加!(定植時M反当100mL、3段花房開花までR反当200g、以降R反当200gとB反当2Lを混用し毎週土壌灌注処理)

【イチゴの事例～低温期の安定増収を実現～】

無処理区



処理区



無処理区



処理区



●注目ポイント(マイコジェル(M)・ライゾー(R)・ボンバルディア(B)施用)

イチゴの増収は低温期が命！定植時マイコジェル反当100mL施用、その後10月下旬まではR反当100gとB反当1Lを混用して毎週土壤灌注処理、11月上旬から2月下旬までの低温期はR反当200gとB反当2Lを混用して毎週土壤灌注処理を行う事で、1番花⇒2番花⇒3番花の開花のタイミングを揃えて毛細根を重視した発根効果で安定した収量を実現できる！3月以降はR反当100gとB反当1Lの混用で戻して最低でも4月下旬まで施用し続ける事でBの高濃度フルボ酸が効果を発揮し土壤に固着した残肥を溶解できる！

【メロンの事例～着果段位が安定し抜群の玉肥大と高糖度を実現～】

無処理区



処理区



●注目ポイント(マイコジェル(M)・ライゾー(R)・ボンバルディア(B)施用)

交配後の施用こそ命！メロンは交配前に草勢を高め過ぎると栄養生長に偏って花飛びの原因となる事から定植直後にM反当100mLを施用後、交配までは生長を見ながらR反当100gとB反当1Lを2～3回施用し、交配直後からはR反当200g～300gとB反当2Lを混用して4～5回施用するとネットの張りも良く玉肥大性に優れ、高糖度の果実を生産する事が可能！

【トルコキキョウの事例～チップバーンの大幅軽減を実現～】

無処理区



処理区



●注目ポイント(グリベテン(G)施用)

特に大輪フリンジ系統のチップバーンの出やすい新品種で猛烈推奨！チップバーンが出る前の葉面散布処理が最適ではあるが、チップバーンが生じた株でも初期段階でG500～1000倍で葉面散布すると欠乏症状が止まる！定植20日目頃から毎週3～5回葉面散布を行う事で高い予防効果を実現！

【ストレス環境下における事例(除草剤の残効土壌)】

【概要】

連作障害の対策として、数年単位で水稻栽培地をネギに転作している圃場ですが、水稻用の除草剤(有効成分:トリアファモン)の残効により、ネギを定植後、初期成育に不良が発生しました。葉のよじれ・根張り不良・生育遅滞から、バイオスティミュラント資材による回復試験を行いました。

【施用方法】

8月2日・8月21日(計2回)

ボンバルディア500倍 + ライゾー5,000倍(混用施用) ブームスプレーヤーで散布

【生産者様の感想】

2回目を施用した数日後から葉がピンと立ち、明らかな変化が見られた。今作の出荷を半ば諦めていたが、一部の圃場を除いては例年同様まで生育が回復し、効果を実感することが出来た。

7月21日撮影



11月5日撮影



●注目ポイント

本試験は、キミテック社が持つ海外の事例を元を実施しました。路地栽培において、環境ストレスは天候だけではなく、悪化した土壌環境でも、ボンバルディアとライゾーを混用施用することで『アミノ酸』と『フルボ酸』のW効果が発揮され、作物と土壌に良い結果が出たと考えられます。

上記の提案は一つの目安となります。必ず一度お試しの上ご使用下さい。

【ナスの青枯病】

昨今の異常気象もあり、既存の対策では青枯病を防ぐことが困難になってきています。そんな中、農研機構の生物機能利用研究部門及び中央農業研究センターによって、アミノ酸がトマトの青枯れ病対策に有効であることが発見されました。ここでは、マイコジェル・ライゾー・ボンバルディアを用いたナスの青枯病対策試験をご紹介します。

【試験概要】

3連棟ハウスで生産される加茂ナス。例年、青枯病により収穫ロスが多発していた。青枯病対策のためバイオスティミュラントを使用した処理区①と、無処理区②③の発病数を日付を追って観察した。なお、処理区①は株の半数が青枯病耐性株だった。

■バイオスティミュラント施用方法

商品名	処理日	処理方法	倍率・施用量
マイコジェル	3/15	ドブ漬け(定植時)	1000倍
ライゾー	3/22・29・4/6	土壌灌注	200g/反
ボンバルディア	4/13～(7日間隔)	土壌灌注	2L/反

【結果】

実は、バイオスティミュラント処理区①は、昨年最も青枯病被害が出たハウスだった。アミノ酸が植物の抵抗性を引き出し、今年最も青枯病が発生した無処理区③(178本)に比べ1/5以下の発生本数となった。処理区①は株の半数が耐性株だったことを考慮しても、バイオスティミュラントの効果が高く発揮された。

■調査日・発生病株数

	①処理区	②無処理区	③無処理区
6月3日	5本	26本	34本
6月28日	29本	94本	147本
7月11日	35本	135本	178本

■比較写真(7月11日同日撮影)

無処理区③



処理区①



【プロミック3錠サンプル、今年度-販売停止のご連絡】

シクラメン出荷用の添付肥料としてご愛顧いただいております、プロミック3錠の販売について、今年は製造元よりの供給が遅延しており、製造が間に合わない状況です。つきましては、今年度の販売は中止とさせていただきます。

ご愛顧いただいております、お客様にはご迷惑をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。



【粉末肥料10kg 代替商品 臨時販売中のご案内】

さて、昨今の肥料原料の高騰、原料保有国からの出荷規制の影響により、弊社業務用商品の『ピーターズ』の入荷が遅延しております。その対策として、韓国にて粉末肥料の代替商品を製造し臨時販売しております。

代替商品は2022年7月上旬より順次出荷を予定しております。

以下、3種で液肥不足でお困りの方は、お気軽に販売代理店へお問合せください。

■現在 **ピーターズ代替え品として出荷中:なくなり次第販売終了**

■商品名:

- ・粉末液肥 10-30-20+微量元素 10kg
- ・粉末液肥 15-30-15+微量元素 10kg
- ・粉末液肥 20-20-20+微量元素 10kg

■価格:ピーターズと同程度

詳細に関しては当社農芸プロダクツ部へお問い合わせ願います。



【第12回農業Weekへの出展】

10月12日(水)~10月14日(金)に幕張メッセにて開催が予定されております農業Weekに今年も出展致します。

また初日の10月12日 12:40~13:10にはPRセミナーを実施予定です。

無料ですのでご来場の際は是非聴講下さい。

■講師・PRセミナーテーマ:農芸プロダクツ部課長代理 枝元政樹

『農業現場で光る弊社バイオスティミュラント資材の効果とその実地事例』

◆内容に関してより詳しいことは下記までお問合せください◆

株式会社ハイポネックスジャパン

農芸プロダクツ部

【本社】〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-9 新大阪フロントビル11階

TEL: 06-6396-0801 FAX: 06-6396-1166

【東京】〒140-0001 東京都品川区北品川3-6-9 北品川369ビル9階

TEL: 03-5781-2590 FAX: 03-5781-2591